

平成25年度人権啓発講演会(小西博之さん)講演概要



新宮市では平成25年9月30日、新宮市職業訓練センターで田辺市出身『コニタン』の愛称で親しまれている俳優の小西博之さんをお迎えし、「命の大切さ」をテーマに人権啓発講演会を開催しました。笑いあり、涙ありの熱のこもった小西さんの講演に、来場された約250人の聴衆の皆さんは熱心に耳を傾けていました。また、アンケートも実施し、約60%余りの方からご協力をいただきました。その中で、「すごく感動した」「大変良かった」「元気をもらった」などの感想が寄せられています。詳しくは、一覧表のアンケート欄をクリックしていただきますと、アンケート集計結果のPDFファイルがご覧いただけます。



小西さんは、マイクを使わず力強い生の声で聴衆の中を歩き回り講演し、今年7月に初めて熊野速玉大社を参拝してから、NHK大河ドラマの出演が決まった話など地元のことにも触れ、中学生の時に出会った担任の先生の影響で教師をめざしたが、残念せざるを得なかった。しかしNHK中学生日記の体育の先生役になれたこと。その後、バラエティ番組「欽ちゃんの週間欽曜日」のオーディションを経てレギュラーとして抜擢された話や、「人生の幸せ・不幸せは、50:50。それを80:20にすることも可能であるが、幸せを80にするには無理をする必要がある、しわ寄せがくる。幸せを1つ増やして51:49にするだけで、その差が0から2になる」という師匠の萩本欽一さんの教えを紹介。



小西さんは現在「いのちのうたプロジェクト」を立ち上げ、「和歌山県少年メッセージ2009」で金賞を受賞した本宮中学校1年(受賞当時)中島みゆきさんの「父と母への誓い」をもとに、白浜町のアーティスト古谷学さんが作詞作曲した「いのちのうた」を通して命の大切さを訴える活動を展開、「和歌山県発信で全国へと広め、小学校6年生の音楽の教科書に載せるのが夢」と語り、「県少年メッセージ2009」での中島さんの発表の映像を会場で流したのち、手話で来場者と共に歌を披露した。



最後に、「命の大切さこそ学校で教えなければならない。今日から自分の子や孫、近所の子どもたちに『あなたが生きててよかった』と、ぜひ伝えて欲しい。そのために、われわれ大人が生きてて、新宮市民で、和歌山県民でよかったと本気で思わないといけない。新宮の子どもを皆さんの力で元気にしましょう」と力強く訴えました。